HGVに対処するための新たな誘導弾システム

防衛装備庁 航空装備研究所 誘導技術研究部 誘導システム研究室

1 研究背景

わが国周辺のミサイル関連技術・運用能力

防衛省 「統合防空ミサイル防衛について」新たな脅威の出現 より引用

- 発射の秘匿性・即時性の向上
- BMD突破能力の向上
- 長射程ミサイルの開発
- 複数発の同時発射
- 発射間隔が1分未満の発射
- 異なる射点からの同時弾着

NHKニュース 2024/4/3
『北朝鮮 中距離弾道ミサイル「火星16号」発射実験成功と発表』より引用

NHKニュース 2024/5/30
『北朝鮮“短距離弾道ミサイル”発射 GPSの作動を妨害も 韓国軍』より引用

➡ 多様化・複雑化・高性能化する経空脅威への対応は喫緊の課題

2 迎撃誘導弾システムのコンセプト

できるだけ**広域かつ遠方**でHGV（Hypersonic Glide Vehicle)を迎撃

➡ HGVの飛しょうパターンを踏まえて**滑空段階で迎撃**

ネットワークによる連携技術

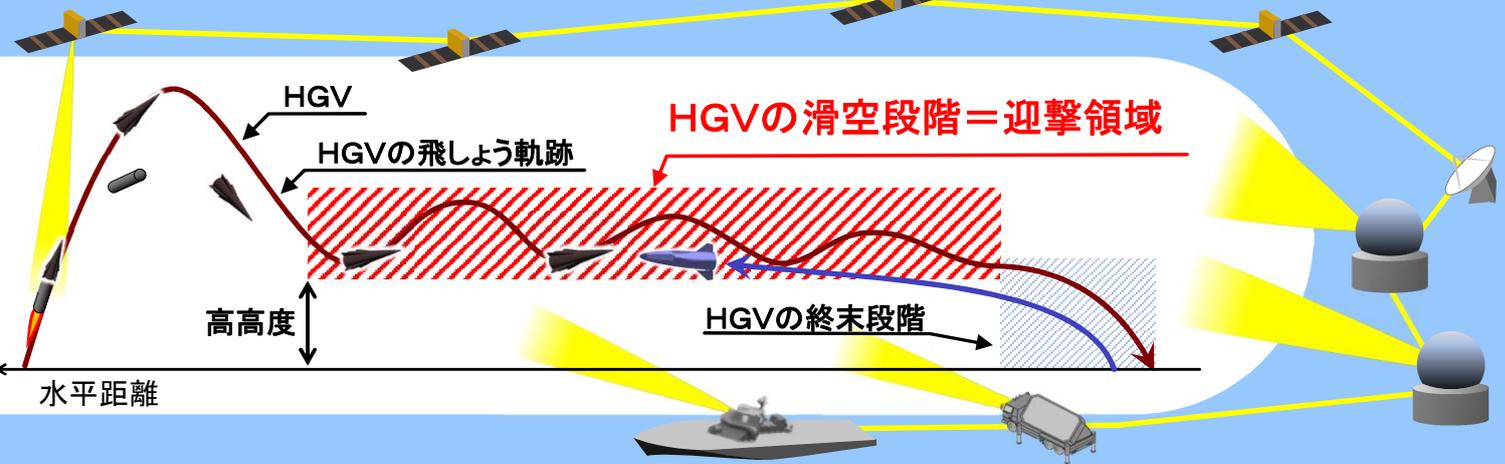
HGV

HGVの飛しょう軌跡

HGVの滑空段階＝迎撃領域

高高度

HGVの終末段階

水平距離

迎撃誘導弾システム コンセプト

ネットワーク交戦能力

高高度領域高応答飛しょう能力

高速・長射程飛しょう能力